

講演：『大阪の漁業について』

(第92回月例会)

大阪湾は古代より「魚庭（なにわ）の海」、「茅渚（チヌ）の海」と詠まれ、チヌ（クロダイ）をはじめ、イワシ類やカニ類など魚介類が豊富な海とされてきました。

大阪府漁業協同組合連合会では、豊かな大阪湾が与えてくれる海の幸を、「泉だこ」など地域ブランド化し大阪産（おおさかもん）として広める等、大阪湾における漁業の継承と水産業の活性化に努めています。

一方、傘下の漁業協同組合では、朝市や青空市場、体験漁業、イベントの企画や運営等を行い、新たな漁業の取り組みを積極的に行っています。

今回は、こうした大阪府漁業協同組合連合会や漁業協同組合の取り組みや今後の水産政策の動きを含め、大阪の漁業全般について、専務理事の 児玉光剛 氏を講師に迎え、「大阪の漁業について」と題して講演していただきます。

■講師

大阪府漁業協同組合連合会

専務理事 児玉 光剛 （こだま みつよし） 氏

■開催日時

令和4年7月29日（金） 15:00～16:00頃まで

■開催場所

神戸市中央区文化センター 10階 1001—1002会議室

神戸市中央区東町115番地 電話 078（381）7899



■主催

公益社団法人 神戸海難防止研究会（担当：渡川又は藤原）

電話 078（332）2035

入場無料（定員40名）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止対策
といたしましてマスクの御着用をお願いいたします。